

# GOVERNOR'S

Monthly Letter VOL.6



Rotary International  
District 2800  
2011-2012



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011  
December

ガバナー  
月信

# 12



国際ロータリー第2800地区【2011-2012年度】

ガバナー 細谷 伸夫 RI会長 カルヤン・パネルジー RI会長エレクト 田中 作次 RI理事 近藤 雅臣

## 広 報 —信頼を得るために—



2011-2012年度  
国際ロータリー  
第2800地区

ガバナー

細谷 伸夫  
(山形西RC)

1. バネルジーR I会長は、ロータリーの物語を巧みに語り伝えようと、広報の重要性を強調しています。

ロータリーが職業奉仕、人道的奉仕を通し良い社会を創ろうとするなら、また人造りをしようとするなら、ロータリーはまず社会の人々から信頼されなければならない。信頼は、その者の言動への信用から生まれる。信用は、言動の内容の正しさと行為者への良い評価が大きな要素となる。

太宰治の言葉に「微笑もて正義をなせ」というのがある。どんなに正しいことでも、唱え手や行い手が厳つい顔で強要するなら、誰も従わない。優しく笑って唱えよというのである。

日本は何といても、「何が」という内容より「誰が」という言い手ややり手にこだわる社会風習がある。そういうとき、例えどんなに正しいことでも、その言い手ややり手の人柄に問題があると、周囲は鼻白んでしまう（童門冬二「鬼の眼に涙」）。

確かに、私が同じ言葉を発しても誰も聞いてくれないし、何を言っている、偉そうに、と言われるのがおちであるが、太宰治が唱えたとすると、「そうか、なるほど。うまいことを言うね！奥が深いね！」となる。

だからどんなに正しい内容のものでも、それを言った人、行った人に良い評価がなければ信じてもらえない。正しさを伝えるには、言い手、やり手の人柄の問題となる。

ロータリーも多くの良いことを言い、やって来た。しかしそれを伝え、広めるには、ロータリーの人柄、すなわち社会による信頼がなければなりません。

2. ロータリーは信頼を失っている。社会から相手にされなくなっている。

1905年頃、ロータリーはそのあり方にマスコミや市民よりたたかれた。ただ、それは信頼に対する反動であり、社会において存在感があったということの意味する。今は誰もたたきはしない。存在の意識すらない。それは全く信頼されていないことの証である。

どうせ金持ちの飲食会であろうと思われているのである。信頼のないものは、どんなに良いことをしても、良い提言をしても、誰も従わないし耳さえ傾けない。

だから、社会の人々の役に立とうとするなら、人を育てたいと思うなら、ロータリーのやることなら、ロータリーが言っているなら、と言われるようにならなければならない。仲間内だけで悦に入っているわけにはいかない。

その為には、まずロータリアン1人1人が職業奉仕を通して自らを磨き、活動し、ロータリアンとして社会的に良い評価を得なければなりません。ロータリーで、自分に思いやりの心を育てることです。

そして大切なのは、社会に対し、ロータリーの姿を示すことです。

良いことをしているのであるから、それを知らしめ、認知してもらわなければなりませんし、その積み重ねが必要です。正に、良いことをしていることの広報の必要性がここにあります。

3. 良いことを知らしめ広めることで最も効果的なのは、自ら奉仕活動をし、その汗と背中を見てもらうことである。東日本大震災で被災し壊滅的な打撃を受けたクラブの中で、会員増強しているクラブがあった。ロータリアンが現地で汗を流し瓦礫を撤去し、食料や水の配布などを行っているのを見た市民が、ロータリーってこんなことをするんだ、だったら私も入りたいと増強になったのです。ロータリーに対する良い評価が生まれ、信頼されたのです。

広報は、社会の適時のニーズに応ずる、しかも社会の人々を巻き込んだ奉仕活動が最も効果的であるが、それにも限界がある。地域で、日本で、世界で良いことをしたら、広報紙の発刊、インターネットへの掲載、そしてマスコミの利用等を通して知らしめ、ロータリーの存在感、信頼を得るよう努力しましょう。



## ロータリー公開講座 ～新世代フォーラム～の報告



地区新世代委員長  
佐藤 孝子

今年度の地区新世代委員会の目玉の行事であります、ロータリー公開講座～新世代フォーラム～が11月5日、山形市民会館に於いて地区インタラクティブ、ローターアクト、ロータリアン、そして一般市民の皆様にも大勢参加して頂き盛会に開催されました。

最初にこの企画をガバナーノミニの時から熱い思いで暖めてきた細谷伸夫ガバナーよりご挨拶並びに講師の山折哲雄先生、山形県立置賜農業高等学校演劇部の御紹介がありました。

第1部特別講演は東北芸術工科大文化研究センター顧問で宗教学者の山折哲雄先生より「震災と日本人」の演題で1時間30分御講演を頂きました。

震災直後の4月上旬、震災地での3日間の体験を通して、日本の自然の持つ二面性、美しさと恐ろしさを痛感したそうです。日本人は太古の昔から生き抜いてきた歴史があり、自然と共に生き、自分達で防衛する無情観が日本人の心には染みつ

いている。人と人の絆、死者と人との絆、絆が安定した時、個の自立が出来上がると訴えた。教育についても今の時代失われている心の在り方をもう1度考える時、日本の教育を変えなければならぬと述べられた。子供達に対し姿勢を正し、呼吸を整え、目を閉じる事を実践する事により個の価値観 命のリズムを覚えさせる事が必要であると苦言を呈した。この震災で私達も心の在り方を考える機会を与えられたのではないかと思います。会場がシーンと静まった中での深い感銘を受けたご講演でした。

第2部は食育こどもミュージカル「どんでん森は、どっきどっき」山形県立置賜農業高等学校演劇部の皆様が元気一杯歌と踊りで楽しい舞台を見せて頂きました。「こころを育む活動」全国大賞、「ボランティアスピリット賞」全国賞「地域に根ざした食育活動」審査委員特別賞と全国3賞受賞の素晴らしいミュージカル、これから益々のご活躍をお祈りしています。あっと言う間に時が過ぎ、舞台終了後ロビーで参加者の皆様を歌と踊りでお送り頂いてまた感動致しました。休憩時間にはロビーで開催しました震災復興市で、たらこ、めんたいこ、のり、かまぼこ等皆様のご協力でご報告させていただきます。売り上げは義援金とさせていただきます。

参加して頂いた皆様に心よりお礼を申し上げ報告とさせていただきます。



## 東日本大震災被害者支援 みかんの贈呈



中山ロータリークラブ  
会長

石川 廣夫

ガバナー事務所より依頼を受けR1第2800地区52クラブを代表として山辺、新庄あじさい、中山ロータリークラブが、沖縄のロータリークラブ会員風のうた保育園理事長鈴木康友氏の友人である仲村実さんより、みかん1トンの寄贈が有り、みかんを贈る為に、10月16日イベントに参加させていただきました。

(株)仙台ぼどもみたん編集部原美希様にみかん500kg届けました。その場でみかんを10コずつ袋づめにし、10時半にイベントが始まり、沖縄のみかん無料で上げますよとスピーカー流れると大勢の親子さんがにこにこし、ありがとうありがとうございますと言いつつみかんを手にする姿を見ますと一日も早く元気になって、元の生活に戻ればいいなと心から思い帰りの車に乗りました。

新庄ロータリークラブ 阿部彰会長さん、(株)仙台ぼど 渡辺裕之社長さん、大変お世話になりました。

### 協力者

長浜商店（代表者：具志堅様）  
共同青果（代表者：伊敷様）  
おきなわヤマト運輸



10月21日  
仙台市立保育所への  
みかん贈呈



上記の内容で寄贈いただいたみかん500kgを、細谷伸夫ガバナーより仙台市立保育所へ贈呈させていただきました。関係された皆様に心よりお礼申し上げます。



# 東日本大震災復興支援 少年野球教室の開催

## 読売巨人軍OBが被災したリトルシニアリーグの中学生を指導

少年野球教室実行委員長(山形市内7RC代表) 中川 善雄

東日本大震災で被災した宮城県内のリトルシニアリーグの少年野球チームを激励しようと、11月13日(日)「宮城のベルサンピアみやぎ泉」野球場で、国際ロータリー第2800地区(細谷伸夫ガバナー)の山形市内7ロータリークラブと山形東ロータリークラブ(中川善雄会長)の姉妹クラブである、相模原南ロータリークラブ(足立旬一会長)が主催で行いました。

宮城県リトルシニア東北連盟宮城県支部所属の9チーム約200人と監督・コーチ30人が参加しました。付き添いのご父兄約100名、ロータリアン58名を合わせると、400名近い人数となりました。

当日は、曇りではありましたが11月にはめずらしく温暖で主催者としては、成功を確信する天気でもありました。

今回の話は相模原南ロータリークラブの足立会長さんから「被災地区で少年野球教室を一緒にやれませんか」と話があり、山形市内の7ロータリーの会長・幹事さんに相談し、2800地区としてやりましよう、話がまとまったものでした。

朝、暗いうちに出発し、AM7:00に集合、7:30ミーティング、8:00受付、9:00開校式、記念品贈呈では各チームにバット2本、ボール2ダース等を細谷ガバナーと8つのロータリークラブの会長から贈呈させていただきました。

9:20より練習開始、講師は読売巨人軍OBの角盈男投手、篠塚和典内野手、緒方耕一外野手、吉田孝司捕手、木戸美摸投手の5名です。

生徒は投手、捕手、内野手、外野手に分かれて指導を受けました。捕球のしかたについては、正面でボールを捕るのだけではなく、投げる方向に体を移

動しながら捕るんだ! 成程、「篠塚の華麗な守備はこれだったんだ」と思いました。

11:00の休息を挟んで打撃練習に入りました。防球ネットに手が触れる迄近づかせ、フルスイングをしてみなさい!と指導、当然バットがネットにぶつかり振れませんが、ところが、腰を先に回転させバットをネットと並行にスイングしますと、見事に振り抜けます。ライト打ちが可能で、そして、脇がしまつて肘をたたんで、内角低めのボールもヒットになりそうです。素晴らしい練習方法です。今日の練習だけでは上達できませんが、今日の教えを反復練習すれば技術は間違いなく向上すると思います。本日の野球教室はまことに有意義でありました。

最後にこの少年野球教室を開催するにあたり、ご協力いただきました。講師の先生方、相模原南ロータリーの皆様、細谷ガバナー、山形市内7ロータリーの関係者の皆様、山形と宮城のリトルシニアリーグの関係者の皆様、ご協賛いただきましたミズノスポーツの皆様、匿名で防球ネットをご寄贈くださいました神奈川県の方、さらに付き添って下さいました医師・看護師に深く感謝を申し上げお礼とさせていただきます。

### リトルシニアリーグ関係者より お礼のメッセージが届きました。

先日は大変お世話になりありがとうございました。子供達も各種団体より頂いた支援物資により野球出来る環境が整いつつあるところにプロ野球OBの方々から熱心な指導を受け、輝いた目を見たときは、復興に大変役立ったと感謝申し上げます。

リトルシニアリーグ宮城県支部事務局長 庄司 知明

私達は、3月11日に東日本大震災という、今までに経験したことのない災害に襲われました。気仙沼リトルシニアでも、家を流されたり、家族や親せきを失ったりした人も多くいました。そんな中でたくさんの人からご支援を頂き、今、野球ができることに感謝しています。しかし、野球ができるようになったからには震災を言い訳にせず、「ただ野球が出来ればいい」ではなく、「ご支援をいただいた方々に恩返しをする」という、気持を持ち、これからも最大限努力し頑張りたいと思います。今日は忙しい中、細かくご指導いただきありがとうございました。

気仙沼リトルシニア主将 梅木 雅也



## 家族月間によせて



親睦・家族小委員会  
委員長

宗川 真希

ロータリー特別月間の中で今月は「家族月間」です。それではその「・・・月間」とは何でしょう。私以外のロータリアンの皆様は熟知していると思いますが、私は理解不足で少々調べてみました。まず特別月間とは「国際ローター理事会が指定したもので、目的はクラブだけでなく個々のロータリアンがロータリー活動に参加する事を強調する為に設けられたもの」だそうです。それでは家族月間とは、「ロータリアンにプロジェクトや活動、行事を通じて家族と地域社会への献身を示すと共にロータリー家族（手続要覧参照）に対し思いやり、気配り、美德の行動、さまざまな考えを協力的に分ち合い、組織を強化し更に人道的奉仕活動を発展させる事によって、

社会の信用を得、ロータリーの発展に繋げること」という月間だそうです。さて2800地区の皆様はどうでしょうか。昨年と同じようにアンケートを実施し、その結果をまとめ各RCに配布いたしました。少しだけその事にふれます。12月にとらわれず拝見しますと、家族への感謝をこめての行事は、家族同伴納涼大会、Xmasパーティーが圧倒的に多いことは周知の事と思います。それでは「ロータリー家族」と一緒に行う社会奉仕活動と申しますと、少々少ないように思われます。乱暴な言い方ですが、所属RC以外のRCでは家族を巻き込みどの様な社会奉仕活動をしているのかご覧戴き参考にさせていただければと思います。

さて、本年7/9クラブ管理運営委員会によるセミナーを開催し、その中で家族委員会として奥様セミナーをお手伝いしました。今回は細谷ガバナー令夫人によるご講演をいただきました。そもそも奥様セミナーは2009～2010年武田ガバナー（当時）の年度、クラブ管理運営委員会細谷伸夫委員長（現在のガバナー）の発案で、奥様方（家族）に「主人が通っているRCはどのようなものか」を是非理解して頂きたい、との趣旨で始めたものです。年々参加者が少なくなっていることが残念でなりません。最後に親睦・家族小委員会として、2012年4月の2800地区ゴルフ大会に大勢の参加者を期待しております。

## 次期ガバナー補佐研修会

2012～13年度、第1回ガバナー補佐研修会を10月29日南陽市健康長寿センターにて行いました。

和田廣ガバナーエレクトの挨拶で始まり、ロータリー財団未来夢計画について、鶴岡西ロータリークラブの池田徳博地区財団委員長より、また、ガバナー補佐の役割と責務を佐藤忠宏パストガバナーより、次いで塚原初男直前ガバナーにはDLP、CLPについて、と、3名の方に約40分ずつ指導して頂きました。最後に和田ガバナーエレクトから方針と、計画について説明がありました。

南陽東ロータリークラブ・  
次年度地区幹事

菊地 泰雄





## 第3ブロック I.M. 報告

ホストクラブ  
天童東RC会長

志田 泰久

10月22日（土）に第3ブロックのインターシティー・ミーティング（I.M.）が、新関彌一郎ガバナー補佐を主催者、天童東RCをホストクラブとして、天童ホテルを会場に開催されました。

細谷伸夫ガバナー、山本信治天童市長を来賓にお迎えし、さらに、野川桂一パストガバナー、佐藤豊彦パストガバナーにもご出席を頂き、地区内からは12クラブ149名が参加しての大会となりました。

今大会のテーマは「東日本大震災で被災した岩手・宮城の被災状況を知り、今後の私たちの支援の在り方を考える」という重いテーマとなりました。これまで、それぞれのクラブで被災地へ支援の手を差し伸べて来ていますが、さらに、長期的な支援の在り方を模索しようとの考えでありました。

講師に、震災3日目から陸前高田に支援に入り、以後支援を続けている水戸RCの秋山現信氏をお迎えし、その現状を写真を交えながらお聞きしました。

氏は、「高田松原ものがたり」という本の再出版や塩羊羹製造の支援もし、さらにこの夏は開催が危ぶまれた地元の「うごく七夕まつり」の開催にも尽力されました。「動けば動く。現場で考える」というこの日の氏の講演テーマは、「変わっていく支援のニーズを、

現場に行って、見て、考えて欲しい」との願いが込められたものと思われました。

当日、会場では、「高田松原ものがたり」と塩羊羹がチャリティー価格で販売され、その収益金は、大会からの義援金、さらに天童西RCからの義援金と合わせて秋山氏に託されました。



## 第4ブロック I.M. 報告

ガバナー補佐  
(河北RC)

上村 徹也

11月12日（土）前日の雨もすっかり晴れ上がり、暖かな日差しのおおとした秋晴れの元、河北町谷地ザ・プラザシンフォニーに於いて第4ブロック I.M. が河北RCをホストクラブとして開催されました。今年度のI.M.のプログラムは、この時節に合ったテーマで記念講演を企画致しました。

講師はお二人の先生にお願い致しました。先ずお一人目は、安孫子貞夫パストガバナーにお願い致しました。テーマは「今、ロータリアンに求められているものは」です。大変中身の濃いお話でロータリーの神髄に触れた思いが致しました。地元のパストガバナーでございますので、これからも各クラブでスピーチを頂きまして楽しく勉強出来ればと思います。

お二人目は山形大学理学部教授岩田高広先生にお願い致しました。先生は国際的にも大変ご活躍なされておられる方でございます。9月も3週間ほどスイス、ジュネーブに研究のため行かれたそうです。今回の講演も大変お忙しい中、時間を割いて頂きました。テーマは「原発事故に伴う放射能汚染と対策」です。

今、国民の一番の関心事は何と言っても“放射能汚染について”ではないかと思えます。岩田先生のお話は、パソコンを操作しながらスクリーンに映してのお

話でございました。専門用語もありましたが、大変わかりやすく説明して頂きましたので、すべてのお話が大変興味深く聞かせて頂きました。中でも年齢別感受性で100msv被曝での癌死亡率を表したグラフには胎児、乳幼児ほど危険で中学生までは特に要注意とのことでした。

「人類は放射能を消滅させる技術を持っていない。100年経っても持ってないだろう」それを「トイレ無きマンション」と言う言葉で表現なされました。そして「すべての原発は速やかに停止すべき」とのお話でございました。



# 我々の クラブ活動紹介

## 2011国際森林年を 記念して植樹

高島ロータリークラブ会長 高梨 正章

去る7月23日に地区社会奉仕セミナーが山形グランドホテルで開催された。当日の基調講演は塚原初男直前ガバナーによる「国際森林年・地球は今・・・」であった。

国連本部において2011年1月に国際森林年が公式にスタートし、日本は国土に占める森林の割合が世界第3位という豊かな森林国である事が述べられた。

ちなみに高島町に占める山林の割合は58%である事も知った。これらを踏まえて高島ロータリークラブ奉仕プロジェクト委員会では、汗を流し地域に奉仕する事が提案され記念植樹を計画に入れた。

木を植えるには秋が好条件との理由から、親睦活動委員会が主催する芋煮会の日と併せて記念植樹を行い、一汗流そうではないかとの提案に全会員が賛同した。

親睦活動委員会の芋煮会開催期日は10月13日(木)に計画されていたため、両委員会で調整をはかり当日の午後4時に38名の会員が記念植樹に参加した。

樹木の種類は、今年3月11日の東日本大震災の過酷な状況の中でも例年と変らぬ美しい花を咲かせ、私達に勇気と安らぎを与えた日本の国花でもある桜に決めた。

植栽の場所は子供達が集まる広場という事で「まほろば童話の里・浜田廣介記念館」の庭に面した池のそばの丘陵に決め、背丈3メートルのソメイヨシノが三本植栽された。

三本の桜には会員の思いがそれぞれ込められしっかりと植えられた。一本は国際森林年を記念し、併せて高島ロータリークラブの発展を願って、二本目は、千年に一度とも言われ未曾有の大災害をもたらした東日本大震災の一日も早い復興を祈念して、そして三本目は21世紀の主役となる子供達の幸せと平和を願ってである。各々の樹木には「国際森林年記念植樹・高島ロータリークラブ2011.10.13」のタグが取り付けられた。

会員相互の心を一つにして汗を流し、植樹した後の安堵感は何とも言えず夜の芋煮会では大いに盛り上がり親交が深まった。そして、見事に開花した時の花見を今から楽しみにしている。  
(高島RC奉仕プロジェクト委員長 鈴木征治文責)





## 水源涵養林植樹について

山形北ロータリークラブ  
社会奉仕委員長

松尾 鎮生



山形北ロータリークラブ社会奉仕委員会の一番の行事である植樹について報告いたします。

例会日の木曜日から水曜日（11月9日）への変更にもかかわらず、多くの会員に集合して頂き、ありがとうございました。当日は東沢公民館から七台の車両に分乗し、30分かけて山頂付近へ到着しました。朝は薄日が差していましたが、セレモニーが始まる時間には曇り空になり、寒さが身に凍みました。

山形市上下水道部水源涵養林植樹式は、山形市上下水道部と山形北ロータリークラブの共催で、山形北ロータリークラブによる苗木贈呈式の後、山形市上下水道部による植樹式が行われました。山形市上下水道事業管理者の瀧井様のご挨拶によると、六年前に我々ロータリークラブで植樹

したブナの木は、すでに間伐するほどに大きくなり、他の場所へ移植するまでになったとのことで、非常に感慨深いものがありました。今回の苗木も、大木になるまでには百年位かかり、治山・治水に役立つ木に育つことでしょう。孫の時代、その子供の時代にまで山形市の水源を守り伝える、長い道のりの第一歩だと思います。

代表者の祈念植樹の後、会員は体を暖めるために一生懸命植樹に取り組みました。一人で5本10本と植えていくと、体が温かくなり、頑張って植樹して頂いたので、予定時刻より30分も早く終了しました。唐松の間伐したところに植樹した苗木は、ブナ、ミズナラ、イタヤカエデの三種類300本で、水源林としては最適樹種とのことでした。

12時半より東沢公民館にて例会を行い、地区社会奉仕委員長村山征彦様、他の方々より挨拶を頂きました。その後山形市長の感謝状を前に写真撮影し、弁当と山形名物芋煮を食べました。山での植樹で皆空腹だったため、なおさら美味しく感じられました。行事は和やかに終わり、庄司会長及び会員全員の笑顔がとても印象的でした。



# 創立25周年記念例会を終えて

米沢中央ロータリークラブ 創立25周年実行委員長 前山 亮一

去る11月5日(土)私ども米沢中央ロータリークラブの創立25周年記念例会を開催いたしました。石黒慶一パストガバナー(細谷伸夫ガバナー代理)はじめ、ご来賓の方々、姉妹クラブの白河西ロータリークラブ、友好クラブの甲府西ロータリークラブ・越後春日山ロータリークラブの皆様、第2800地区第6ブロック内の多くの会員のご出席を賜りました。

記念例会に先立ち、白河西ロータリークラブと姉妹クラブ締結更改調印式を行い、両クラブ共さらに交流の進展を再確認いたしました。

当クラブは、1986年(昭和62年)6月10日、米沢ロータリークラブ様・米沢上杉ロータリークラブ様をスポンサークラブとして、相田吉助特別代表の大変なご尽力、ご指導の下に活動をスタートいたしました。以来近隣クラブの皆様、姉妹・友好クラブの皆様と交流を通し、温かい友情とご協力を頂きながら25年の歴史を綴ってまいりました。この間の多くの活動を通して、クラブとして大きな自信と強い絆を確信しております。

この25周年の記念事業として、3つの事業を行いました。第1回目の記念事業として7月11日(月)米沢市民文化会館に於いて開催された「春風亭小朝トーク&コンサート」に被災者の方々をご招待いたしました。この度の東日本大震災により、住み慣れた土地を離れ米沢へ避難して

来られた方々100名をご招待いたしました。傷ついた心を少しでも癒していただけたのではないのでしょうか。第2回目の記念事業は、25周年記念登山として7月23日(土)会津磐梯山に登りました。この日は快晴の登山日和、山頂でR Iテーマ幕を掲げ記念撮影し無事下山しました。常日頃の運動不足を実感し、体力を養い友情を確かめました。第3回目の記念事業として、記念例会当日、落語家の古今亭菊丸師匠の「芸人の世界と落語」という演題で講演して頂きました。すばらしい巧みな話術でのお話と落語に、出席者一同感動と笑いで大いに盛り上がりました。このように当日、私たち米沢中央ロータリークラブは、ささやかながらも楽しい身の丈にあった記念例会を行いました。25周年にあたり、以上の記念事業を行いました。これからもロータリー精神を忘れずに未来に向かい、地域や家族そして他のロータリークラブからも愛されるクラブを目指して、努力して行きたいと思っております。





# ガバナー公式訪問

— 細谷ガバナー行脚 —

2011年10月18日(火)

## 南陽東ロータリークラブ

菊地 泰雄 会長 菅野欣一郎 幹事

クラブテーマ

地域にロータリーを、  
家庭と家族、そして絆

10月18日(火)早朝より細谷ガバナー、網代ガバナー補佐をお迎えしてのガバナー公式訪問の例会となりました。クラブ協議会は前もって行うようにとの細谷ガバナーの方針でしたので、9月27日に網代ガバナー補佐をお迎えして10時30分より4ブロックに分けて各委員長さんに今年度の計画を発表して頂き、それに対して1ブロック毎にガバナー

補佐より講評を、指導をして頂きました。

当日は会長、幹事、会長エレクト、副会長、副幹事も出席して頂き、細谷ガバナー、網代ガバナー補佐との懇談と意見交換となりました。

私たち会員は直接ガバナーとお会いする機会は数日しかありません。当日はお二人様のお話を聞きしながら勉強し当クラブの発展につながった公式訪問であったと思います。お二人様には今後共ご指導の程宜しくお願い致します。



2011年10月20日(木)

## 高島ロータリークラブ

高梨 正章 会長 山村 義美 幹事

クラブテーマ

質素・継続

10月20日(木)高島RC創立45年目、第2139回例会に細谷伸夫ガバナー、黒澤巖ガバナー補佐、武田元裕地区副幹事をお迎えして公式訪問が行われました。

11時からの会長幹事会では、当クラブが活動の基本とする「アイサーブなので、一人一人の主体性・自主性を重んじ、わがままを許し合えるクラブ」に対して、ご意見ご指導をいただきました。

又、ガバナーからは、ロータリーは単年度主義なので「会長の色は何色ですか」と、会長年度の

特徴等を問われました。私は「ベースボール色です」と答えました。(理由は紙面の都合上省略します)

12時30分からの例会講話では、今年のテーマ「継続」に触れられ、『継続は良いが、反復では衰退につながる』とのご意見と、『思いやりの心を育て、広めよう』について感銘深いお話をいただきました。

例会終了後の寒河江信高島町長への表敬訪問まで、和やかで穏やかで思慮深いご指導を下されたガバナーに対して、衷心より感謝とお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



— 東日本大震災からの一日も早い復興を祈念して —

みんなのロータリー



国際ロータリー第2800地区  
寒河江さくらんぼロータリークラブ

生き・粋・意気がモットー

さがえ 絶の代

大小宴会承ります(70名まで)

— 無料送迎いたします —

寒河江市落衣前2-4 TEL 0237-85-5588

2011年10月25日(火)

## 山形中央ロータリークラブ

安藤 英男 会長      奥山 宏 幹事

今日はガバナーの公式訪問ということで、初めてこのステージに登った時と同じくらい緊張しています。細谷ガバナーを前に、幹事と二人で被告人になったような気分で1時間ちょっと別室で面談をさせていただきました。

今年の国際ロータリーのカルヤン・パネルジエ会長は、「こころの中をみつめよう博愛を広げるために」というR Iテーマのもと、細谷ガバナーは「思いやりのこころを育て広めよう自分に家庭に地域に世界に」を目標に1年間活動されています。

ガバナーにご指導ご指摘を受け、ロータリーについて勉強をしなくてはならないと感じました。私もロータリーに入ってから19年になりますが、例会に来て、仲良く皆さんと話をし、お食事をするのがロータリーだと思っていたのですが、今年会長になり4ヶ月が過ぎようとしているのに、なんと

なく地に足がつきません。会長は非常に大変な職だと日々痛感しております。まだまだ先は長いですが、ご指摘頂いたことを肝に命じて頑張っていこうと思います。



2011年10月26日(水)

## 小国ロータリークラブ

今 良明 会長      阿部 秀勝 幹事

10月26日(水)細谷伸夫ガバナー、網代ガバナー補佐、鏡公式訪問担当委員の3名が公式訪問されました。例会前に行われた会長、幹事会では

- ・地元国際人との交流、意見交換をする事
  - ・計画書の通り実行する事
  - ・メイクがすくない
  - ・地域産業の人達を入会させる
- との指摘を受けました。  
クラブ内においては、
- ・年間計画は会長が把握しなくてはいけない。
  - ・クラブフォーラムを年数回開催しなさい。

- ・ベテランが若手を集めて話をする。
  - ・セミナー報告会を開く。
- とアドバイスされました。  
短い時間にもかかわらず、たくさんのご指導いただき心より感謝申し上げます。  
ありがとうございました。



— 東日本大震災からの一日も早い復興を祈念して —

総合屋根・板金・外装&融雪・太陽光発電



本社 山形県河北町谷地十二堂407  
〒999-3511 TEL (0237) 72-2642(代)

## ミナトヤデンキ

谷地店	河北町谷地甲23-1	TEL 0237-72-2431
神町店	東根市神町中央二丁目5-3	TEL 0237-47-2502
さくらん河北店	谷地店内	TEL 0237-71-0415

2011年10月27日(木)

## 川西ダリアロータリークラブ

鈴木 雅博 会長 奥山 弘明 幹事

公式訪問当日、幹事が都合により出席できなく、役員不足を補う形でガバナーにもご了承いただき、ほかの役員も出席しての会長、幹事会となりました。話し合いの中で、会員の急激な減少の原因は、若い会員の意見を十分に受け入れ奉仕活動を積極的に実施すれば良かったのではとご指摘がありました。今後はあまり形式にこだわらない活動を心がけ実行していきたい。

「おっ、例会の時間だな、これからドンドン集まって来るんだな？」とガバナー「いやあ、チョコ、チョコしか・・・！」と会長。県内でも最小のクラブですからアットホームな感じで例会が始まり、ガバナーの

ご講話の中で、クラブをより発展継続させていくには同じことを繰り返すのではなく、たえず時代に合わせ変化し行動しなければクラブの未来は危ういという当クラブへのご心配、ご忠告をいただきました。

クラブ出身の黒澤AGも同席してのなごやかな例会となりました。いろいろなアドバイスを今後の活動に活かしていきます。細谷ガバナー、尾形地区幹事大変ありがとうございました。



2011年10月31日(月)

## 天童西ロータリークラブ

東海林松男 会長 高橋 寛人 幹事

### クラブテーマ

まなびて生かそうロータリー  
(仕事に地域に)

10月31日の月曜日、細谷ガバナーはじめ、新関ガバナー補佐、東海林地区副幹事の3名においでいただき公式訪問が開催されました。

公式訪問に先立ち10時より、当クラブの初代会長で現在は名誉会員の山本信治天童市長を、天童クラブ、天童東クラブの3クラブの会長幹事とともに表敬訪問し、今年度の地区テーマやロータリーの現状などを語らう有意義な歓談を行いました。

11時からは、会長、幹事そして次年度会長も含めて西ロータリーの現状をお話しし、細谷ガバナーよりさまざまなご助言をいただきました。

現在は20名の会員数なので活動に制約が出てきている現状などをお話しましたが、西ロータリーが当初から取り組んできた国際奉仕、特にカンボジアへの会員全員の井戸の寄付（その井戸には会員のネームが刻まれている）や農村が自立できるように、村の互助組織の米銀行の立ち上げや野菜などをホテルなどへ契

約出荷できるようなプログラムなどの独特な組織の運営への支援などをIBYというボランティア団体と共に協力しながら行ってきた活動を高く評価していただきました。

それに反して、社会奉仕活動が少し不透明になってきているように思われるのでそちらのほうも力を入れてほしいとご指摘もいただきました。

会員増の方法については、これだけの奉仕活動の実績のあるクラブなので、単純な会員増強と考えずにその活動の輪を広げるための仲間づくりという視点で会員を増やしていけばよいのではないかと新しい発想には大変感心いたしました。

ともすれば少人数と言うことで内向きになりがちですが、細谷ガバナーには新しい観点から西クラブを見ていただき、さまざまな助言いただきましたことに心より感謝申し上げます。

これらのことを踏まえ、今後の活動に生かしていくことをお約束して公式訪問への御礼とさせていただきます。



— 東日本大震災からの一日も早い復興を祈念して —

**Kahoku**  
ロータリークラブ



秋の旬の味  
出羽屋のきのこ料理

〒990-0703  
西村山郡西川町間沢58

山菜料理 出羽屋

TEL0237-74-2323 FAX0237-74-3222



2011年11月1日(火)

## 長井ロータリークラブ

横澤 茂 会長 福田 和子 幹事

本年度の重点事業は次のとおりです。

1. **クラブ運営**  
各委員会の特色を生かした連携の重要性  
各継続事業の実行
2. **50周年事業**  
式典の計画・実行 カリアシン訪問
3. **ロータリアンとして**  
いま、われわれに何ができるか  
長期支援はどのように行うか
4. **例会は会員が主役**  
全会員のスピーチを実践  
会員相互の交流を深め、会員増強に努める
5. **ロータリー財団・米山奨学会支援**  
ロータリアンの基本理念としての行動として

50周年をむかえ、本年度の一番大きな事業としまして、記念になる事業を行いたいということで3年前より、50周年準備委員会を立ち上げて本年度に向け計画してまいりました。

- 1 会員拡大につきまして40名体制で記念式典に臨みたいと、会員増強プロジェクトを立ち上げ、拡大のための、リストアップ等を行いながら定期的に委員会を開催して拡大をはかっていく。

- 2 4年目になりました、インドネシア カリアシンロータリークラブとの共同で行ってまいりました、インドネシア スラバヤの小学校等に図書等の支援を行う、WCSプログラムの最終年度にあたり、現地訪問とカリアシンロータリークラブ訪問を11月3日に行いました。
- 3 地元の長井南中学校と長井北中学校に教育施設充実のための機材を寄贈いたしました。
- 4 長井市と共催で最上川沿いに桜の苗木を100本植える事業を行いました。
- 5 記念式典は2012年5月12日に行う予定をしています。

11月1日ガバナーよりクラブ運営について、いろいろなアドバイスを戴きました。

今後のクラブ運営にあたり、より良い、楽しい、ためになる、参加したくなる例会や各種事業・懇親会などにつとめてまいります。各委員会活動を盛んにしていき、充実したクラブライフが送れる様にしていきたいとおもいます。

これからもご指導、アドバイス等よろしく願いいたします。



2011年11月2日(水)

## 米沢中央ロータリークラブ

赤間 俊明 会長 色摩 勇 幹事

### クラブテーマ

### 感謝の心をかたちに

11月2日(水) 細谷伸夫ガバナー、黒澤 巖ガバナー補佐、晋道純一地区副幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。例会に先立ち、赤間会長、色摩幹事、梅津勇会長エレクト、佐藤哲雄副幹事が同席し、11時より「会長・幹事会」を行い、貴重な時間を過ごさせて頂きました。

細谷ガバナーより当クラブの特徴は何かとの質問を受け、赤間会長より当クラブは誠実なクラブであり平等な運営を実践しており、これが創立以来25年「継続」している伝統である旨のお話をいたしました。

細谷ガバナーより当クラブの会員数が減少しているのは何が原因なのかを問われました。会員一人一人の心にロータリーが根付いていなかったことを改めて思い知ら

されました。ロータリーの存在意味、社会価値をクラブの活動を通して学んでいきたいと思えます。

また細谷ガバナーよりライオンズクラブは「物の奉仕・寄贈」が主体であるが、ロータリークラブは「職業奉仕」が主体であり心の資質、自己研鑽を図り会員相互の親睦と社会奉仕、だいそれたことでなく家族の「おはよう」「ありがとう」と言う言葉ひとつに奉仕の精神が宿るのではないかと言われました。

2800地区ガバナーの地区目標は「思いやりの心を育て、広めよう—自分に、家庭に、世界に」を掲げられました。

今年度、私たちはクラブに感謝し、クラブを愛し、まず「クラブに対し何ができるのか」を考え、会員一人一人実践していきたいと思えます。そして、社会のニーズに即した事業を行い、地域に必要とされるクラブになるよう更に努力したいと思っております。大変有意義な公式訪問例会を行う事が出来ありがとうございます。



— 東日本大震災からの一日も早い復興を祈念して —

平和・友情・貢献

国際ロータリークラブ第2800地区第4ブロック

## 西川月山ロータリークラブ

事務所〒990-0701 西川町海味548 ケアハイツ西川内

☎0237(74)4065/FAX 0237(74)4085



JX日鉱日石エネルギー 特約店

## 上村石油(株)

河北町谷地字月山堂403-1

☎(0237)72-7222代

2011年11月8日(火)

## 山形南ロータリークラブ

武田寿美男 会長 伊勢 和正 幹事

### クラブテーマ

**胸襟を開いて仲間と話そう、  
そして行動しよう**

当日は11:00より細谷ガバナー、本多ガバナー補佐からのご指導をいただくべく、会長・副会長・会長エレクト・幹事の四名が懇談と意見交換会にのぞみました。我がクラブの年次計画はすでにご覧いただいております。細部に渡りご指導があり、特に社会奉仕については周りをよく見つめ、現代のニーズを的確に捉えた活動を推進すべきとのご指摘がありました。またCLPについてクラブ事業の取捨選択と収斂をはかり効率の良い運営を図

るように今後の下半期に期待するとのお言葉がありました。その後通常例会に移りいつものとは違うはりつめた雰囲気の中、多くの会員の出席をいただき、また思いもかけずビジターとして山形西RCの豊田義一パストガバナーのご来訪もあり大変盛り上がり、例会がスタート。食後ガバナーの卓話をいただき、真剣に講話をされるそのお姿に感動を覚えました。加えてこの日は100%例会の報告をすることができ、誠に有意義なガバナー公式訪問例会となり、ガバナー並びにガバナー補佐には心より御礼を申し上げたいと存じます。



2011年11月9日(水)

## 長井中央ロータリークラブ

安部 義裕 会長 沼澤 岩夫 幹事

### クラブテーマ

**奉仕の心を持ち、  
自分のできることを行動に移そう!!**

11月9日(水)細谷ガバナー、第6ブロック網代ガバナー補佐、公式訪問委員、鏡氏をお迎えし、公式訪問例会が開催されました。

11時からの会長・幹事会に於いてはクラブの長所・短所の設問を受け、20名の会員数・今春、創立20周年が終えた事、又、多くのクラブ員が入会5年過ぎであるなどを考え、21年目は再出発そして増員、30名という数に目標を置き、クラブ員全員で向かう事が望ましいという助言を頂きました。(統一

運営目標)

12時15分から例会に入り、補佐の挨拶を頂き、ガバナーの熱意ある卓話を頂きました。RIのスローガン、そしてロゴマークの意味についても詳しく説明して下さい、これからの活動への貴重な指針となりました。

残り8ヶ月、細谷ガバナーはじめ3名の地区役員のご指導を参考に一層、ロータリー活動の充実を固く誓ってガバナー公式訪問の報告とさせていただきます。



— 東日本大震災からの一日も早い復興を祈念して —



<http://www.sugasho.com>  
美しい環境づくりのパートナーを目指す  
塗料及省力関連機器の総合商社

**(株)スガタ商事**

本社 〒991-0041 寒河江市新山1-45-2  
TEL 0237-86-2664 FAX 0237-86-2751  
山形営業所・仙台営業所

ウェディングセレモニー&レセプション

**GRANDEUR 寒河江**  
SAGAE 〒991-0053 寒河江市元町2-1-2  
TEL 0237-86-7511



# ハイライトよねやま

## 1 寄付金速報 — 米山月間へのご協力に感謝 —

10月までの寄付金は前年同期と比べて3.9%減、約2千万円減少の4億9,400万円となりました。普通寄付金が1.0%減、特別寄付金が6.0%減でしたが、10月単月だけで比較すると約400万円増加しました。

今回の米山月間には5人の方々から各100万円のご寄付をいただき、うち1人は法人としても100万円という大口寄付をいただきました。今なお、震災復興に向けて日本のロータリーが一丸となって尽力する中、米山記念奨学事業への変わらぬご支援に心より感謝申し上げます。2011年度も上期が残り2ヵ月を切りました。引き続き当会事業へのご協力をよろしくお願ひいたします。

## 2 10年の絆を育て — ジャンチブ・ガルバドラッハさん —

10月7日、山形市内のホテルで「モンゴル国際フォーラム」（主催：山形北R C）が開かれ、かつて山形北R Cの米山奨学生だったジャンチブ・ガルバドラッハさんと、彼が母国に設立した「新モンゴル高校」の卒業生8人が、それぞれの夢や日本の留学生生活を語りました。

ジャンチブさんが米山奨学生だったのは1998～99年。「モンゴルに国際標準の3年制高校を作りたい」という彼の夢を、山形北R Cを中心に多くの一般の人が「柱一本の会」の会員となって支援し、2000年に新モンゴル高校が設立されました。10年経った今、屈指の私立高校へと成長しています。「ジャンチブは今でも皆の気持ちを胸に頑張っている。10年の節目を迎えて、われわれとの絆がまだしっかりとあることを確認し、柱一本の会に協力してくれた人たちや、当時を知らないロータリアンに、その後のことを知ってもらいたい」と、この企画を発案した酒巻満会員は言います。会場には柱一本の会の元支援者や地元の高校生など約120人が集まり、熱心に耳を傾けました。

「新モンゴル高校はすでに“良い学校”ですが、今後は“偉大な学校”にしたい。偉大な学校とは、卒業生一人一人が人類のために尽くし、幸福な人生を送る人間になること。私は“人”の懸け橋を作りたい」と、ジャンチブさんは今後のビジョンを語りました。

スピーチした卒業生の一人、映画監督になる夢を持って桜美林大学に通うゾルジャルガルさんは、「私がここに立っているのは皆さんのおかげ。皆さんは、ジャンチブ先生の学校を作る夢を応援してくれただけではなく、私を含め卒業生の夢も応援してくれた。そのことを毎日、



心から感謝しています」と述べ、ジャンチブさんへの支援が若い世代の夢を育て、何倍にも広がり開花していることを感じさせました。この日の夜、8人の卒業生たちはそれぞれ山形北R C会員の自宅にホームステイし、新たな絆を育みました。





# 2011-2012年度 ガバナーノミニー決定のお知らせ



2011-2012年度  
ガバナーノミニー  
**新関 弥一郎君** (天童東RC)

第2800地区ガバナー指名委員会は、ロータリー細則第13条第2節第4項の規定により、2011-2012年度第2800地区ガバナーノミニー候補者の推薦を地区内各クラブに要請致しましたが、いずれのクラブからも推薦がありませんでした。

よって、ガバナー指名委員会を開催し審議の結果、国際ロータリー細則第13条第2節第2項の規定により新関 弥一郎君 (天童東RC) を2011-2012年度第2800地区ガバナー

ノミニーに指名しました。

ここに、国際ロータリー細則第13条第2節第6項の規定により新関 弥一郎君をガバナーノミニーとすることを公表します。

生年月日：1943年 (昭和18年) 10月5日  
 自宅住所：〒994-0033 天童市三日町2丁目5-3  
 勤務先：(株)たちばなや薬局 取締役会長  
 E-mail：y2izeki@gmail.com  
 所属クラブ：天童東ロータリークラブ  
 職業分類：医薬販売  
 ▼ロータリー歴  
 1985年 3月 天童東ロータリークラブ入会  
 1996～97年 天童東ロータリークラブ会長  
 2011～12年 ガバナー補佐  
 ポール・ハリス・フェロー、米山功労者

## 米山功労者



メジャードナー (18)  
**遠藤 栄次郎君**  
所属クラブ：山形西RC  
職業分類：石油販売



**岡田 宏道君**  
所属クラブ：山形西RC  
職業分類：宗教



**小松 公博君**  
所属クラブ：山形西RC  
職業分類：口腔外科医



マルチプル (4)  
**菅野 耕吉君**  
所属クラブ：寒河江RC  
職業分類：塗料販売

## ポールハリスフェロー



大口寄付者  
(ロータリー東日本震災復興基金)  
**安孫子 貞夫君**  
所属クラブ：寒河江RC  
職業分類：構造技術



M・P・H・F (2)  
**菅野 耕吉君**  
所属クラブ：寒河江RC  
職業分類：塗料販売



**酒井 政輔君**  
所属クラブ：山形西RC  
職業分類：麺類製造販売



M・P・H・F (1)  
**結城 和生君**  
所属クラブ：山形西RC  
職業分類：歯科医



**菅原 修司君**  
所属クラブ：酒田東RC  
職業分類：経営コンサルタント



**佐藤 猛君**  
所属クラブ：酒田東RC  
職業分類：電気工事



**和島 公太君**  
所属クラブ：酒田東RC  
職業分類：厨房機器販売

## 新入会員の紹介



きむら ひさお  
**木村 尚雄君**  
所属クラブ：河北RC  
入会日：2011.8.1  
職業分類：林業



わたなべ きよし  
**渡邊 清君**  
所属クラブ：河北RC  
入会日：2011.9.1  
職業分類：冠婚葬祭業



おかべ さとし  
**岡部 聡君**  
所属クラブ：酒田RC  
入会日：2011.10.26  
職業分類：冠婚葬祭業

記載もれがありましたら、  
ガバナー事務所までお知らせ下さい。

# クラブ会員数／出席率

ブロック	No.	クラブ名	2011.7.1 会員数	内女性 会員数	2011.10.31 会員数	内女性 会員数	年初からの増減数		10月 出席率	年初からの 平均出席率
							増	減		
第1ブロック	1	酒田	38	3	37	3		1	81.62	88.56
	2	酒田東	32	3	34	3	2		82.80	84.51
	3	遊佐	11	0	11	0			88.64	88.65
	4	酒田中央	38	0	38	0			85.60	87.52
	5	酒田スワン	17	6	16	6		1	100.00	100.00
	6	酒田湊	17	2	17	2			94.12	93.75
第2ブロック	7	鶴岡	37	5	39	5	2		81.58	82.15
	8	鶴岡西	33	4	33	4			83.86	89.52
	9	余目	26	0	27	0	1		66.67	80.38
	10	立川	16	0	16	0			82.81	83.85
	11	鶴岡東	36	1	36	1			66.67	76.00
	12	鶴岡南	24	4	24	4			69.79	75.04
第3ブロック	13	天童	42	1	42	1			92.64	91.81
	14	東根	36	0	37	0	2	1	86.58	82.10
	15	天童東	48	0	48	0			82.00	77.75
	16	天童西	20	0	20	0			88.75	94.27
	17	東根中央	37	1	37	1			90.50	86.76
	18	村山	14	0	13	0		1	98.08	98.11
	19	新庄	19	2	20	2	1		77.37	84.28
	20	尾花沢	18	0	18	0			68.88	78.40
	21	最上	20	1	20	1			48.75	57.91
	22	尾花沢中央	16	0	16	0			96.88	94.54
	23	村山ローズ	21	5	21	5			70.00	71.20
	24	新庄あじさい	20	0	20	0			88.00	89.92
第4ブロック	25	寒河江	49	0	48	0		1	89.00	86.88
	26	大江	20	1	20	1			96.86	96.94
	27	河北	30	0	31	0	2	1	85.31	86.28
	28	寒河江さくらんぼ	34	2	34	2			91.90	91.71
	29	西川月山	16	1	16	1			79.69	78.99
第5ブロック	30	山形	86	0	91	0	6	1	99.13	98.26
	31	山形北	70	0	72	0			99.58	99.38
	32	山辺	28	0	27	0		1	96.15	96.83
	33	山形南	53	1	54	2	1		100.00	99.73
	34	中山	15	0	15	0			85.00	81.42
	35	山形西	99	0	99	0	1	1	89.23	87.94
	36	上山	11	0	11	0			90.00	89.77
	37	山形東	38	0	38	0			92.71	94.08
	38	山形中央	36	4	36	4			87.62	83.50
	39	山形イブニング	30	0	31	1	1		70.73	74.94
	第6ブロック	40	米沢	43	6	49	6	6		95.65
41		米沢上杉	45	2	47	2	2		94.15	96.94
42		高畠	48	3	48	3			84.90	79.17
43		米沢中央	36	4	36	4			97.22	98.26
44		米沢おしょうしな	28	1	28	1			91.97	92.74
45		川西ダリア	9	0	10	0	1		82.50	64.40
46		長井	34	1	33	1	1	2	95.09	93.07
47		南陽	20	4	20	4			96.30	92.10
48		白鷹	17	0	17	0			97.05	96.18
49		小国	16	0	16	0			82.81	84.79
50		南陽東	42	0	43	0	1		82.80	81.90
51		長井中央	20	0	20	2			91.25	92.63
52		南陽臨雲	30	1	29	1		1	54.31	61.76
合 計			1639	69	1659	73	30	12	85.99	86.73



日曜日	地区行事
12/1 木	【東根】
2 金	第5ブロック ガバナー歓迎会
3 土	第2ブロックI.M. (立川IRC、会場：グランドエル・サン)
4 日	
5 月	
6 火	
7 水	【上山】
8 木	【山形北】
9 金	
10 土	国際協議会出発歓送会(予定)
11 日	
12 月	【中山】
13 火	
14 水	
15 木	
16 金	
17 土	第2回諮問委員会/AG・委員長会議/懇親会(山形市)
18 日	
19 月	
20 火	
21 水	【山形】
22 木	
23 金	天皇誕生日
24 土	
25 日	
26 月	【山形西】
27 火	
28 水	
29 木	
30 金	
31 土	
1/1 日	
2 月	振替休日
3 火	
4 水	
5 木	
6 金	
7 土	
8 日	
9 月	成人の日
10 火	

# GOVERNOR'S Monthly Letter

## 12 2011.December 月の地区スケジュール

山

形

探

訪

Yamagata  
Tanbou



■山形ロータリークラブ創立20周年(1970年)寄贈

「アルブレヒト・フォン・ローレツの像」

場 所：霞城公園内郷土館  
旧済生館三層楼

明治13年にオーストリアから済生館  
医学寮の教頭として招かれ、山形県の  
医療の発展につくした、医師ローレツ  
の偉業を讃え寄贈したものです。

山形市内7RC寄贈の  
モニュメントを順次紹介いたします。

月信10月号 山形探訪の「和」詳細説明に  
一部誤りがありましたので訂正致します。  
山形ロータリー寄贈 → 山形北ロータリー寄贈

国際ロータリー第2800地区  
**2011-2012年度ガバナー**

細谷 伸夫

ガバナー事務所

〒990-0041 山形県山形市緑町1-9-30 緑町会館3F  
TEL.023-674-9777 FAX.023-674-9778

【今回の表紙】

山形市「宝紅庵」秋の紅葉

[写真撮影] 松村スタジオ